

# 第 38 回 日本大学桜門建築会 建築講座 開催案内

## テーマ「熊本地震と熊本城の復原をめぐる」

規模の大きな地震の後に、さらに大きな地震が発生した熊本地震では、木造住宅の倒壊など甚大な被害が発生した。現行の耐震設計では、立て続けに大規模な地震が起きることは想定されておらず、我々は熊本地震から何を学び、何を次へと繋げていく必要があるのか、改めて考えてみる必要があるのではないだろうか。

第 38 回の建築講座では、東京工業大学名誉教授和田章先生、並びに構造計画研究所郭献群氏をお招きし、改めて熊本地震の教訓について、また復興のシンボルでもある熊本城の現況と復原について公開されている情報を基に分かり易くお話頂きます。多くの方々に参加していただきたく、お誘い合わせの上奮ってご参加ください。

### 記

開催日時：平成 29 年 11 月 15 日（水）18 時～19 時

場 所：日本大学理工学部駿河台校舎 1 号館 2 階 121 会議室

演 題：「熊本地震と熊本城の復原をめぐる」

講 師：和田 章（わだあきら）先生 東京工業大学名誉教授

郭 献群（Guo Xianqun）氏 （株）構造計画研究所 構造設計担当役員

受講費：無 料

### 講師紹介

#### 和田 章（わだあきら）先生

1946 年 岡山県生まれ

1970 年 3 月 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了

1970 年 4 月 日建設計入社

1982 年 1 月 東京工業大学助教授、同大学教授（1989 年 11 月）

2011 年 4 月より現職

主な研究実績として、鋼構造骨組の非線形解析、免震構造、制振構造など  
日本建築学会名誉会員、日本地震工学会名誉会員、日本免震構造協会会長

#### 郭 献群（Guo Xiangun）氏

1962 年 中国アモイ市生まれ

1990 年 6 月 筑波大学工学研究科博士課程修了

1991 年 7 月 （株）構造計画研究所入社

2015 年 10 月より現職

主な設計（研究）実績として、セルリアンタワー、シャングリラホテル上海・大連、六本木ヒルズ森タワー、上海環球金融中心

2008 年 10 月より同済大学客員教授を兼任

お問い合わせ：桜門建築会事務局／TEL03-3259-0649・FAX03-3292-3216

E-Mail info@okenkai.jp